



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



### 第1回安全な登下校 PROJECT 実施。早くも梅雨入り!?

— Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) —

先週、第1回安全な登下校 PROJECT を実施しました。昨年は、このプロジェクトを6月22日に、第1回目を実施しました。その時の学校通信には、次のように記載しました。

この取組において、子ども達が頑張ることは、次の5つです。

- ①集合時刻・出発時刻を守る。②列を崩さず、並んで登校する。
- ③横断歩道など、横断する場合、できるだけ短い時間で横断する。
- ④遅れないように歩く。⑤班長、班員が、お互い協力する。

全ては、普段から気を付けていることばかりですが、特に大切にしたいのは、⑤班長、班員が、お互い協力するという事です。どうしてかという、以前にお知らせした「No one will be left behind. — 誰一人、取り残さない —」という考え方を大切にしたいからです。登下校における班長は、班員の安全な登校のため、その行動に気を配り、注意しなければならないことは声をかけ、町全体を気遣っていることでしょう。また、班員は、班長の指示を守り、班員として安全な登下校を心がけていることでしょう。このことは、できて当然、と思っている人が多いと思います。しかし、「できて当たり前」と思っていることほど、実は、難しいのです。そこで、改めて「安全な登下校」について一人一人が意識し、自信をもって行動できるようになることを目指します。今週、一週間、各町で、毎日の登下校を振り返り、それを「見える化」します。そして、しっかりとできた町と町の子ども達には「NSRP (中番・スクール・ロード・パトロール) 賞」を贈り、その前向きな姿勢と努力を称えたいと思います。全校生が、「安全な登下校の仕方を理解し行動できる人、班行動の大切さを理解し協力できる人」になって欲しいと願っています。全校生がこの目標に向かい、「No one will be left behind. — 誰一人、取り残さない —」の精神を生かし、取り組むことができるかどうか、とても楽しみにしています。

昨年度は私の方から実施しましたが、今回は児童会の取組として子供達が実施しました。目標は、左記の通りで、昨年度と変わってはいません。新年度が始まり、「安全な登下校をしよう」という思いから実施を考えてくれたようです。今回は、副班長が記録をしていました。班長を支える副班長として、今の町の様子をしっかりと見て、確認するという事でしょう。今回の評価は副班長に任されています。自分で考え、評価をしっかりと進めてくれるものと思います。第1回安全な登下校 PROJECT の結果が楽しみです。

さて、昨日、近畿地方の梅雨入りが発表されました。すごく早いなと思い、気象庁のホームページ (HP) を見てみると、

近畿地方では、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となっています。向こう1週間も、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。このため、近畿地方は、平年よりかなり早い、5月16日ごろに梅雨入りしたと見られます。(参考事項)

近畿地方	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月6日ごろ	7月19日ごろ
昨年	6月10日ごろ	8月1日ごろ

※これまでに近畿地方の梅雨入りが最も早かった日  
1956年 (昭和31年)、2011年 (平成23年) 5月22日ごろ

※統計開始年1951年 (昭和26年)

※平年の梅雨入り・梅雨明けの統計期間は、1991年～2020年

とありました。注意事項には、「梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の『移り変わり』の期間があり、梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するもので、後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日に変更となる場合があります。」とのことですが、何と一番早い梅雨入りということになりますね。いつもより早いということで、色々、心配な思いもあります。梅雨も、日本にとっては必要な自然現象ですが、極端な変化は何かと気になるものですね。

中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。